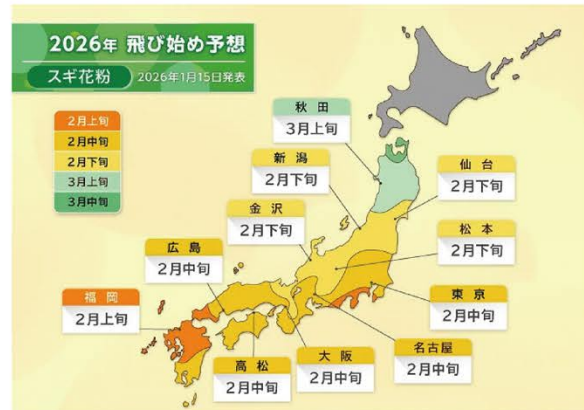


# 花粉&黄砂 対策

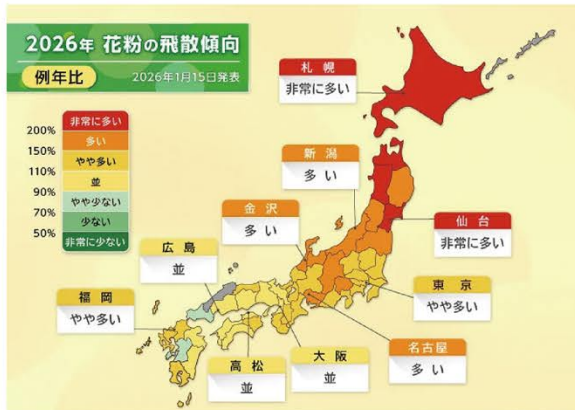


今年も花粉と黄砂の季節がやってきました。スギ花粉が2月上旬に、九州や、中国・東海・関東の一部で飛散開始、飛散のピークは早いところでは2月下旬から、飛散量は西日本では例年並み、東日本と北日本では例年より多いようです。

また黄砂は通常4月頃に多いですが、1月中旬に西日本で大規模な観測があり、例年(3~5月)より早い「フライング」気味の飛来が特徴です。例年より、車への影響は大きいと考えられます。



※北海道はシラカバ主体のため対象外



※鳥根県は例年比はありません

**2026年 スギ・ヒノキ花粉のピーク予測**

| 種類  | 2月 |    |    | 3月 |    |    | 4月 |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|     | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| 仙台  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 東京  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 金沢  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 名古屋 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 大阪  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 広島  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 高松  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 福岡  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

※2006年1月15日発表

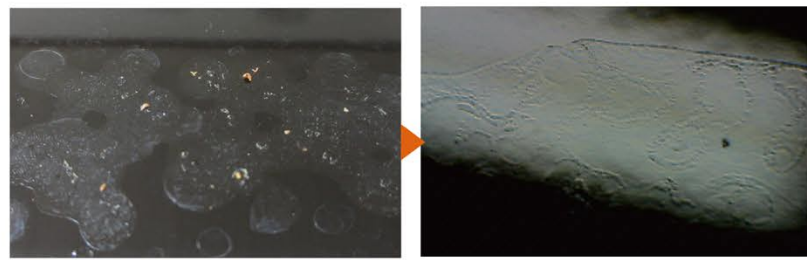
※仙台はヒノキのピークはありません

(すべて日本気象協会HPより)

## 花粉

**！花粉シミは塗装表面の“変形”のため、ポリッシャーで研磨は絶対にNG!逆に塗装を傷めてしまいます!**

花粉に含まれるペクチンは、食パンに付けるジャムの原料(増粘剤=粘度を増すもの)に利用されている「べとべと成分」です。一度雨で濡れてしまうと「べとべと」して、洗車で取りにくくなります。さらにこのべとべとした花粉は乾燥する際に収縮します。その収縮する力で**塗装面をシミ跡のように変形**させます。花粉シミはシミではなく、塗装の変形であるため、研磨しても解決せず、逆に塗装を傷める可能性があるのが絶対にしてはいけません。



花粉が付着してシミになったように見えますが、塗装の変形です。

①花粉の“べとべと”は、**「花粉クリーナー(アルコール)」で拭き取れる。**

花粉クリーナーに含まれるアルコール成分が花粉の“べとべと”を抑えるため、スカッと拭き取れます。



「花粉クリーナーの使い方」動画



「花粉クリーナー(500ml)」  
935円(税別)

②花粉を放っておくとできる“花粉ジミ”は**「熱いお湯」**で消える。

花粉が付いたまま放っておくと、頑固な花粉のシミ跡ができます。花粉のシミ跡は熱いお湯(80℃くらい)をかけ続けると消えてなくなります。もしくは、夏まで待って気温が高くなると自然に消えます。

①80℃くらいの熱いお湯を用意します。



②シミが付いている部分にマイクロファイバークロスを敷き、お湯をかけます。



③ボディが温まっているかを確認します。



④シミが取れていることを確認します。



「お湯での花粉の取り方」動画

## 黄砂

①黄砂による洗車キズは、**最初の「高圧スプレー洗浄」で予防。**

多量の黄砂汚れは洗車キズの原因。最初の高圧スプレーを使った予備洗浄で、「砂」を水でよく流しておきます。



②黄砂汚れの対策に、**「キーパーコーティング」の自浄作用。**

キーパーコーティングを施工しておくことで、コーティング被膜が持つ自浄作用により、黄砂汚れがボディに残りにくく、雨で流れ落ちやすくなります。



キーパーコーティング未施工



キーパーコーティング施工

キーパーコーティング未施工

**勝手にキレイ!キーパーの“自浄効果”【フレッシュキーパーの場合】**

